

平成25年度 事業報告書

1. 全体概要

「一般財団法人くにびきメッセ」として新たなスタートを切った平成25年度は、コンベンション誘致及び会館管理運営の両部門とも、目標数値を上回ることができた。

また平成25年10月に開館20周年を迎え、記念事業として平成26年1月にシンポジウムを実施した。

(1) コンベンションビューロー事業について

- 平成25年度は、県内において開催された16件の国際会議を含む146件のコンベンションを支援し、その参加者は56,591名であった。
- コンベンション主催者の負担軽減を図り、さらなる誘致に結びつけるため、学会・コンベンション補助金の交付、歓迎看板の製作、郷土芸能の提供、観光パンフレットの配布、行政機関との連絡調整などの支援を行った。
- 県内へのコンベンション誘致について、首都圏306件、西日本35件のコンベンション主催団体本部及び275件の地元関係団体に対し、合計616件の誘致活動を行った。
- 初の試みとして、海外のMICEに関する展示会（KME : Korea MICE Expo 2013）に参加した。

(2) 産業交流会館の管理運営事業について

- 県内企業の利用促進策として平成22年度に開始した県内企業の利用促進助成制度を平成25年度も引き続き実施した。また、利用者へのサービス向上策として、県条例単価を下回る利用料金の設定や、国際会議場、多目的ホールでの会場設営、主催者からの発注業務を代行するワンストップサービスなどに取り組んだ。
- 以上の取り組みの結果、平成25年度の稼働率は36.7%となり、達成目標の35.7%を1ポイント上回った。また、利用件数は1,532件となり、目標件数である1,500件を上回った。なお、催事の内容の相違等により総入場数は前年度に比べ13,688人減の338,710人となった。

2. 理事会・評議員会等実施状況

(1) 評議員・役員合同会議

開催日 平成25年4月25日(木)

報告 ① 一般財団法人化について

② 平成24年度の事業状況及び今後の見通しについて

(2) 第1回評議員会

開催日 平成25年4月25日(木)

議案 ① 評議員会会長の互選について
② 評議員の補欠選任について

審議結果 議案①については杉谷雅祥評議員が互選され、②については原案のとおり選任された。

(3) 監査

実施日 平成25年5月29日(水)

監査結果 平成24年度の事業及び決算の監査を受け、適正との報告を受けた。

(4) 第1回理事会

開催日 平成25年6月28日(金)

議案 ① 平成24年度事業報告並びに決算について

審議結果 議案①について原案のとおり承認された。

報告 ① コンベンションビューロー事業の実施状況について
② 県立産業交流会館管理運営事業の実施状況について

(5) 第2回評議員会

開催日 平成25年6月28日(金)

議案 ① 平成24年度事業報告並びに決算について
② 評議員の補欠選任について

審議結果 議案①～②について原案のとおり承認された。

(6) 第2回理事会

開催日 平成25年9月6日(金)

報告 ① コンベンションビューロー事業の実施状況について
② 県立産業交流会館管理運営事業の実施状況について
③ 事務局体制について

(7) 第3回理事会

開催日 平成25年12月3日(火)

議案 ① 資産運用規程の一部改正について

審議結果 議案①について原案のとおり承認された。

報告 ① コンベンションビューロー事業の実施状況について
② 県立産業交流会館管理運営事業の実施状況について
③ 県立産業交流会館20周年記念行事について

(8) 第4回理事会

開催日 平成26年3月27日(木)

- 議案 ① 平成25年度予算の補正について
② 一般財団法人島根経済文化振興会との業務委託契約について
③ 平成26年度事業計画について
④ 平成26年度収支予算について
⑤ 定款の変更について

審議結果 議案①～⑤について原案のとおり承認された。

- 報告 ① 専決事項について（くにびきメッセの利用料金の改正）
② コンベンションビューロー事業の実施状況について
③ 県立産業交流会館管理運営事業の実施状況について

3. 事務局組織体制

平成25年度の事務局組織体制は、次のとおりであった。

(平成25年4月1日現在)

事務局長

総務課	4名	課長 課長補佐 総務係長（課長補佐兼務） 任期付職員2名
事業課	10名	課長 課長代理 事業係長（課長代理兼務） 任期付職員5名 設備管理係長（課長代理兼務） 任期付職員1名 派遣職員2名
誘致支援課	5名	課長（松江市観光振興公社派遣） 参与（松江市観光振興公社派遣） 課長補佐 主事 任期付職員1名

合計 20名（兼務を除く）

（事務局長及び総務課職員3名は一般財団法人島根経済文化振興会職員を兼務）

4. 基本財産の状況 (平成26年3月31日現在)

809,027,000 円 (平成6年度以来、同額)

《内 訳》

島根県 515,007,000 円

松江市 280,000,000 円

産業界 14,020,000 円

《保有状況》

定期預金 937,900 円

国債 419,903,000 円

地方債 306,544,490 円

政府保証債 158,760,000 円

計 886,145,390 円 (内、時価による増 77,118,390 円)

5. コンベンションビューロー事業 (MICE誘致事業) 実施状況

(1) コンベンション誘致活動

コンベンション主催団体の本部やブロック支部のある首都圏、近畿圏や県内の関係団体等を継続して訪問し、コンベンション開催の働きかけと将来に向けて必要な情報収集を行った。

平成25年度県内で開催されたコンベンションは146件、うち国際規模16件、全国規模59件、西日本規模49件、中国規模22件であった。(別紙「25年度コンベンション誘致・支援実績」のとおり)

① 個別訪問誘致活動

訪問先

コンベンションの主催団体(業界団体、学術団体、官公庁等)の本部及びブロック支部(首都圏、近畿等)、ならびに県西部を含む県内の関係団体事務局などを訪問し、コンベンション開催への働きかけを行った。

開催確定件数(平成26年3月末時点)

平成26年度 69件(うち国際会議7件)

《主なコンベンション》

平成26年4月	ライオンズクラブ国際協会336-D地区年次大会	(1,500人)
5月	IECEE-CTL(国際会議)	(130人)
5月	第59回日本身体障害者福祉大会～しまね大会～	(3,000人)
6月	2014年日本地域福祉学会第28回大会	(800人)

8月	第61回全国中学校理科教育研究会島根大会	(500人)
9月	電気学会電子・情報・システム部門大会	(1,000人)
9月	第37回中国・四国地区公民館研究集会	(1,500人)
9月	2014年日本液晶学会討論会(国際会議)	(450人)
9月	第63回全日本手をつなぐ育成会島根大会	(2,000人)
9月	ICPEPA(国際会議)	(180人)
10月	第10回地域人権問題全国研究集会	(1,000人)
10月	第31回「センサマイクロマシンと応用システム」シンポジウム	(700人)
10月	第78回全国学校歯科保健研究大会	(2,000人)
10月	The 9 th JFPS International Symposium on Fluid Power Matsue 2014(国際会議)	(200人)
11月	ISSS-7(国際会議)	(700人)
11月	SOCA2014(国際会議)	(80人)

平成27年度以降 21件(うち国際会議5件)

《主なコンベンション》

平成27年6月	第56回日本臨床細胞学会総会	(3,200人)
7月	第16回日本医療情報学会看護学術大会	(800人)
11月	ISEM2015(国際会議)	(150人)
11月	第45回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会・学術集会	(500人)

② 国際コンベンション誘致活動

ア 海外キーパーソン商談会(Meet Japan 2014)への参加

日本政府観光局(JNTO)が海外から招聘した国際会議主催者の一部を、現地視察のために松江市に招くとともに、東京においてすべての招聘者と商談を実施した。

(現地視察)

期 日 平成26年3月2日(日)～3日(月)
招聘者 2団体(2名 マレーシア、ベルギー)

(商談会)

期 日 平成26年3月6日(木)
会 場 グランドプリンスホテル新高輪(東京)
招待者 8団体
主 催 独立行政法人 国際観光振興機構



- イ 「Korea MICE Expo 2013」、「韓国国際会議キーパーソンセミナー」への参加
韓国で開催された下記の展示会及びセミナーに出展、参加した。

・ Korea MICE Expo 2013

期 日 平成25年6月26日（水）～27日（木）

会 場 COEX（韓国ソウル）

・ 2013韓国国際会議キーパーソンセミナー（主催：JNTO）

期 日 平成25年6月28日（金）

会 場 The Westin Chosun Hotel（韓国ソウル）



③ 7都市情報懇談会の開催

全国的なネットワークを活用し、より有効な誘致活動を行うため、開催ブロックの異なる全国7市のビューロー（旭川、秋田、前橋、岐阜、姫路、松江、鹿児島）が共同し、主催者を招いた懇談会を開催し、情報交換を行った。

期 日 平成26年1月22日（水）

会 場 東京會館（東京）

参加者 32名（21団体）

④ 中国・四国地区コンベンション推進協議会誘致懇談会の開催

中国・四国地区コンベンション推進協議会（10団体）の構成団体が、それぞれ首都圏のコンベンション主催者を招待し、共同で情報交換を目的とした、誘致懇談会を行った。

期 日 平成26年2月13日（木）

会 場 ANAインターコンチネンタルホテル東京

参加者 150名（85団体）

⑤ 大学クラブ・サークル合宿の誘致

大学クラブ・サークル合宿の宿泊が可能な松江市内のホテル・旅館（9社）で結成された「松江合宿誘致プロジェクト」と協力し、平成25年10月8～9日と平成26年2月26～27日の2回、関西地区の専門旅行会社への誘致訪問活動を行った。平成25年度は21件の大学サークル合宿に対して支援を行うことができた。

⑥ キーパーソン等の招聘

本県での開催を検討している次の学会・大会等の主催者を招聘し、くにびきメッセ等の主会場や宿泊施設及び観光施設等の紹介、PRを行った。

「ACIS」

平成25年5月22～23日

「核燃料リサーチ会議」
「JFPS」

平成25年6月6～7日
平成25年6月14日

⑦ 県人会、経済倶楽部との連携

当財団に事務局を置く島根経済文化振興会が支援する、島根経済倶楽部の交流会に参加して、コンベンション誘致への協力を依頼した。

平成25年 7月19日 広島市

平成25年10月11日 平田市

⑧ 実務研修等の受講

実務者のスキルアップのため、コンベンション誘致に係る研修に参加した。

JCCB 第1回コンベンション・ビューロー部会

期 日 平成25年5月16日（木）～ 17日（金）

会 場 ホテル国際21（長野市）

JNTO MICEセミナー（初級者対象）

期 日 平成25年5月15日（水）

会 場 JPタワーホール&カンファレンス（東京）

JNTO MICEセミナー（中上級者対象）

期 日 平成25年8月7日（水）

会 場 フクラシア東京ステーション（東京）

JCCB 第2回コンベンション・ビューロー部会

期 日 平成25年10月24日（木）～ 25日（金）

会 場 岡山コンベンションセンター（岡山市）

JCCB 第11回実務担当職員研修会

期 日 平成26年2月12日（水）～ 13日（木）

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京）

日本コンベンション研究会 国際観光コンベンションフォーラム2014

期 日 平成26年2月4日（火）～ 5日（水）

会 場 ロイトン札幌他（札幌）

(2) 企画事業

① 「くにびきメッセファンクラブ」交流会の実施

国際会議や全国大会・学会の開催を重ねる中で、島根県や松江市に愛着を持つ主催関係者が増えてきたことから、これらの方々と当財団との交流・意見交換を一層図るため、平成25年度は第3回関西交流会及び第5回首都圏交流会を実施した。

第3回関西交流会

期 日 平成25年8月20日（火）
会 場 大阪東急イン（大阪）
招待者 10名

第5回首都圏交流会

期 日 平成25年12月12日（木）
会 場 パシフィコ横浜（横浜）
招待者 16名



② 賛助会員向けセミナー

賛助会員向けセミナーとして、平成26年1月24日にくにびきメッセ開館20周年記念シンポジウムを開催し多数の参加があった。

(3) 調査事業

① コンベンションデータの更新

訪問活動、インターネット、及びJCCB等からのコンベンション誘致に関する情報を収集整理し、コンベンション・データベースを更新した。

※平成25年度末コンベンション情報件数 10,014件（うち本県で開催可能性のあるもの1,652件）

② PCO・エージェントによる誘致活動の調査

学会事務局を受け持つPCOやエージェントを訪問し、島根県や松江市へのコンベンション誘致委託等について打診し協議した。

PCOについては、業務委託等の可能性はほとんどないと判明したが、エージェントについては可能性が残ったので、引き続き協議する。

③ コンベンションアンケートの実施・分析

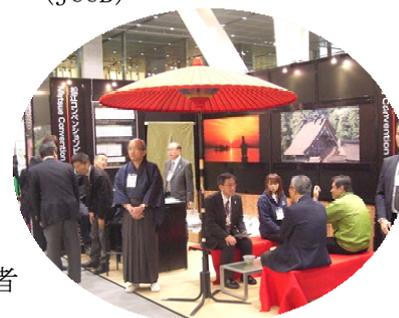
平成25年度に県内で開催された10件のコンベンションについてアンケート調査を実施し、それに基づいてコンベンションによる県内への波及効果を計測した。

(4) 広報宣伝事業

①第23回国際ミーティング・エキスポ（IME）への出展

全国のコンベンションビューローなど138団体・企業が一堂に会するトレードショーに参加し、県・市補助金制度などの支援内容、くにびきメッセをはじめとする各種会議施設、宿泊施設、観光施設の宣伝を行うとともに、コンベンション主催者との個別商談を実施した。

主催者 国土交通省、独立行政法人国際観光振興機構（JNTO）
日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）
期 日 平成25年12月11日（水）・12日（木）
会 場 東京国際フォーラム（東京）
来場者 3,338名



②情報誌「神々の郷」の発行

配布先 賛助会員、官公庁、コンベンション主催者
大学関係者及び関係機関
発行回数 4回（4月、7月、10月、1月）
発行部数 各1,900部

③ホームページの活用

国内外の主催者に対し、リニューアルしたホームページを積極的に活用していただくよう依頼した。

(5) 支援事業

①コンベンション開催支援

平成25年度に県内で開催された146件の大会・学会等に対し、補助金交付や観光パンフレットの提供など各種の支援を行うとともに、県・市町村及び関係諸団体との連絡調整を行った。

主催者に交付した島根県及び松江市の補助金実績は、以下のとおりであった。

島根県学会等開催事業費補助金交付実績

区 分	25年度		24年度	
	件 数	金 額 (千円)	件 数	金 額 (千円)
国際会議等	13	36,958	8	21,250
全国学会等	16	14,200	12	13,278
地方学会等	5	500	9	1,650
合 計	34	51,658	29	36,178

島根県コンベンション開催事業費補助金交付実績

区 分	25年度		24年度	
	件 数	金 額 (千円)	件 数	金 額 (千円)
国 際 大 会	2	1, 232	0	0
全 国 大 会	32	11, 750	28	12, 300
合 計	34	12, 982	28	12, 300

松江市コンベンション開催支援補助金交付実績

区 分	25年度		24年度	
	件 数	金 額 (千円)	件 数	金 額 (千円)
国 際 大 会	12	7, 874	8	5, 912
全 国 大 会	24	10, 678	29	11, 180
西日本地区	36	3, 534	17	3, 391
中国地区	9	705	3	180
合 計	81	22, 791	57	20, 663

②通訳案内士・通訳ボランティアとの連携

通訳ボランティア団体合同研修会に際し、開催経費の一部を補助した。
また、25年度に開催した5件の国際会議のエキスカージョンに通訳ボランティアが同行し、英語によるガイドを行った。

6. 会館の管理運営事業実施状況

(1) 会館利用件数及び入場者数

区 分	25年度		24年度	
	件数(件)	入場者数(千人)	件数(件)	入場者数(千人)
会 議	884	72.3	835	72.7
国際大会	8	7.5	9	5.5
全国規模	4	5.8	10	17.5
中四国規模	8	7.1	3	1.8
その他	864	51.9	813	47.9
展 示 会	121	171.3	125	157.6
そ の 他	527	95.1	415	122.1
合 計	1,532	338.7	1,375	352.4

前年度に比べて件数で157件増、入場者数で13.6千人減となった。

《参考》平成25年度の主な催物は、別表のとおり。

(2) 稼働率

区 分	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度
展 示 場	37.8%	35.9%	34.0%	39.4%	41.5%
会 議 室	33.8%	34.7%	32.8%	31.7%	32.9%
全 体	36.7%	35.6%	33.6%	37.6%	39.4%

前年度に比べて全体稼働率は1.1ポイントの増となり、年度目標であった35.7%を1ポイント上回った。

※ 稼働率は、各施設の稼働時間に面積率を乗じて算出する。

《参考》開館以来の年度別稼働率は、別表のとおり。

(3) 施設の利用促進

① 県立産業交流会館利用助成金制度

産業交流会館利用者の経費負担を軽減し、利用件数及び稼働率の向上を図るため、平成22年度から「県立産業交流会館（くにびきメッセ）利用助成金交付要綱」（平成22年4月1日施行）を定めた。平成25年度は大展示場、多目的ホール、国際会議場の利用に対し、会館利用料の5%から15%相当額の会館利用助成金を交付した。

《制度利用実績》	交付件数	交付金額	
平成22年度	48件	7,524千円	
平成23年度	41件	4,708千円	
平成24年度	40件	2,713千円	(助成比率を見直し)
平成25年度	44件	2,453千円	

②広報の充実

「くにびきメッセ催物のご案内」を作成し（630部/月）
県、松江市、松江商工会議所、県民会館等公的施設、新聞
テレビ等のマスコミ各社に配布した。

また、同じ内容を当財団のホームページに掲載するとともに
月刊 MICE 情報誌「MICE Japan」や月刊タウン情報誌「Lazuda」
街 Lab 等他社のインターネット上の催物案内等に掲載されるよ
う情報を提供した。



（４）施設・設備の維持管理及び職員の技能向上

①利用者の利便性向上を図るよう、設置者の島根県と連携し、必要な修繕を実施した。

- ・大展示場屋根避難経路通路改修工事（県実施）
- ・屋根箱樋改修工事（県実施）
- ・自家発電設備更新工事（県実施）
- ・エントランス天井部雨漏り応急処置

②職員の技能向上を図るよう、OJT（職場内研修）により職員レベルの向上に努めるとと
もに、全国規模の会議・研修会に積極的に参加した。

- ・ **全国展示場連絡協議会**（公的イベント・コンベンション会場を管理運営する 55 団体で構成）
平成 25 年 9 月 第 7 ブロック総会（兵庫：神戸市産業振興センター）
平成 25 年 11 月 第 19 回実務担当者会議（富山：富山国際会議場）
平成 26 年 3 月 第 7 ブロック担当者会議（兵庫：神戸市産業振興センター）
- ・ **国際会議場施設協議会**（国際会議場を管理運営する 32 施設で構成）
平成 25 年 9 月 第 1 回実務研究会（新潟：朱鷺メッセ）
平成 26 年 2 月 第 2 回実務研究会（新潟：朱鷺メッセ）

（５）自主事業の実施

会館利用促進と県内産業の振興・地域活性化を図るため、県民が気軽に参加できる次の自主
企画事業を開催した。

『くにびきメッセフリーマーケット』

日 時	平成 25 年 5 月 6 日(月)	10:00～15:00
場 所	大展示場、多目的ホール	
出 店 数	214 店	
主 催	(一財) くにびきメッセ	
来場者数	約 5,000 名	



(6) 先進コンベンション施設「横浜国際平和会議場(パシフィコ横浜)」との連携

平成 22 年 4 月に協定を締結した(株)横浜国際平和会議場と連携し、次の事業を実施した。

職員研修事業

平成 26 年 3 月 20 日～21 日に職員 1 名をパシフィコ横浜に派遣し、会館の運営や営業について研修を受けた。

(7) くにびきメッセ開館 20 周年記念シンポジウム開催

平成 25 年 10 月 7 日に開館 20 周年を迎えたのを記念し、片山ニセコ町長の基調講演、また「地域振興に果たす MICE とコンベンション施設の役割」というテーマのもとシンポジウムを開催した。

期 日 平成26年 1 月 24 日 (金)
会 場 くにびきメッセ 国際会議場
出席者 150名
(全国コンベンション施設関係者、賛助会員等)

